

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2018.4.19(木)
No. 239

なぜG.S.だからできる交渉も これまでのG.S.とは違うのか

希望にあふれる二〇一八年（平成三〇年）度がスタートしました。昨年度、「学校における働き方改革」が教育長のパブリックコメントとしてはつきりと宣言され、この意義が浸透することによってわたくしたちの教育活動を教師にとつても、子どもたち・保護者にとても、真に心にゆとりをもつた、教育内容充実にも期待の持てる一年にしたいものです。

G.S.が、今年度から
増やされることについて

少しずつ実態が見えてきました。「短時間学習」や「探求学習」は、従来大切にされてきた朝読書

や朝運動、朝自習など基礎学力の獲得の様々な活動を大きく阻害するのでは、との懸念が広がって

組合だからできる交渉も みなさんのバックアップが支え

執行委員長 大沢 博

的に書いてください。

新年度に配布された教育長の働き方改革に関する言葉も、タイムカードの導入など具体的に書かれていて私はとても前向きにとらえています。欲を言えば30人学級を国に先駆けて実施しますと書いて欲しかったです。

正直、昨年度は交渉続きで、年を開けてから退職金削減に対する交渉など、とても辛いものでした。しかし、組合があつて交渉ができるということがわたしたちの権利を守つたり配慮していただきたいが、今の職場は家から近く、始まる時間が少し遅いため、朝、子どもが多少ぐずつても遅刻しないで済んでいます。これも交渉で子育て中の方や介護の方には配慮するということを確認した成果だと思います。介護や子育てで苦労している方は、人事調査の特記事項の欄にぜひ具体

願いします。



みなさんこんには。昨年度に引き続き委員長を務めることになりました。

今年度異動しましたが、子育て中の身としてはありがたい異動でした。前の職場でもかなり配慮していただきたいが、今の職場は家から近く、始まる時間が少し遅いため、朝、子どもが多少ぐずつても遅刻しないで済んでいます。これも交渉で子育て中の方や介護の方には配慮するということを確認した成

果だと思います。介護や子育てで苦労している方は、人事調査の特記事項の欄にぜひ具体

願いします。

みなさんは、昨年度に引き続き委員長を務めることになりました。今年度異動しましたが、子育て中の身としてはありがたい異動でした。前の職場でもかなり配慮していただきたいが、今の職場は家から近く、始まる時間が少し遅いため、朝、子どもが多少ぐずつても遅刻しないで済んでいます。これも交渉で子育て中の方や介護の方には配慮するということを確認した成

果だと思います。介護や子育てで苦労している方は、人事調査の特記事項の欄にぜひ具体

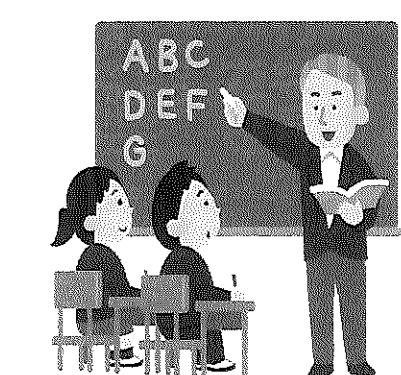
います。ただでさえ足りなくなっている授業時間からも、「探求」のために時数的に厳しい高学年から大切な「余裕時間」を差し引かれる」とも学

校運営上の心配の種です。そして、多くの教師にはまったく知らされないまま市教委はG.S.に指導教師を専科教師として2

5校ほどに配置したとされています。私たちささいたま市教組が情報収集しましたが、全体像はまだ見えません。

専科の多くは今まで「日本人講師」（SA）として働いていた方が専科として採用されました

が、受け持ち時数の関係、学校の状況で専門外の算数少人数指導や生徒指導等の支援に入る業務も受け持つようになり、しかも学校に赴任するまでそのことを知らされていない



執行委員長

大澤 博（大原中）

執行副委員長

清水和宏（春里中）

書記長

横川雅子（三室中）

書記次長

金井裕子（大牧小）

執行委員員長

稻葉達也（日進小）

執行委員員長

川上 勤（大門小）

執行委員員長

詫間恵里子（植水小）

執行委員員長

長島大志（指扇小）

執行委員員長

塙教組中央執行委員
涌井一成（大成小）

今年の

執行員です

職場の困ったこと、相談したいことなど、お気軽に声をかけてください

(一面からの続き)

しかし、一方では先の見えないまま専科を受け入れることによってかえつて繁雑になつたり、むし

る現状の方が学校運営にとつてはメリットがあるとの判断で、あえて手を挙げなかつたという選択肢もあつたようで、導入にあたつての難しさがうかがえます。

ますます負担増のGS

働き方改革の逆行ではないか?

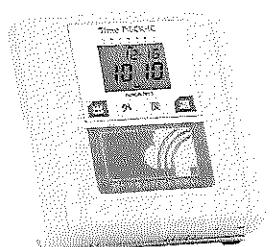
GSにおける今年度からのさらなる施策は現場に混乱と多忙化を煽る」とは否めません。働き方改革の逆行につながります。それを払拭するためにも、やはりすべての学校にGS専科の導入を図

るべきです。加えて、「毎時間学習」や「探求」の実施については、「学校の創意工夫」として現場に押し付けるのではなく、市教委からの積極的な資料提供、指導計画の提案を強く望みます。

いつになつたら導入されるタイムレコーダー

昨年度(今年1月)に発表された教育長のコメントも相まって、多くの教師はタイムレコードが当然年度初めから導入されるものと思つていました。

しかしながら今のところ動きは全くないよ



要求してきた項目の一つが実現に結びついたわけですが、もちろんタイムレコードが導入されることによって、単純に多忙化が解消されるとは私たちも考えていません。

教育長も認めるように学校の多忙化は常態化し、さまざまな要求によって、学校の創意工夫だけでは、「やりがいの擡取の上で学校教育を成り立たせるのは限界」があります。

しかし、導入によって現場から業務改善の必要性を意識し、多忙化解消の解決を実現していく第一歩になつていくことを期待します。

さいたま市教組は、今年度も多忙化を解消し、真の「学校における働き方改革」の実現に向けて提案・要求を続けています。皆さんの応援、情報提供をよろしくお願いします。

うで、管理職もよくわからぬようです。
つい先日私たち教職員全員に配付された細田教育長のメッセージでも、現場への導入が待たれるところです。

さいたま市教組が長年ついて触れていましたので、現場への導入が待たれるところです。

第18回定期大会

2018年度

午後6時10分開場 6時20分開会
5月18日(金)

浦和コミニティセンター 第13集会室
(浦和パルコ10階)
※駐車場代は補助します

